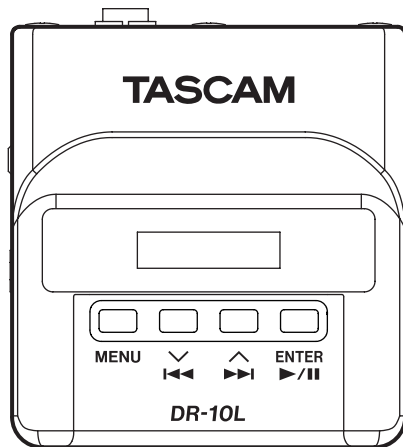


# TASCAM

D01303001A

# DR-10L







Micro Linear PCM Recorder  
with Lavalier Microphone







取扱説明書

## 安全にお使いいただくために



製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。




	<b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 万一、異常が起きたら煙が出たり、変なにおいや音がするときは機器の内部に異物や水などが入ったときはこの機器を落としたり、カバーを破損したときは異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
	禁止 この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	禁止 航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
	分解禁止 この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	禁止 この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。





	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	指示 オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	禁止 濡れた手でコネクタの抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	禁止 5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

### 電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	<b>警告</b> 乾電池に関する警告
	禁止 乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

	<b>警告</b> 電池に関する警告
	強制 電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	禁止 指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

	<b>注意</b> 電池に関する注意
	禁止 金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	分解禁止 分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	注意 保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。 使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

## 目次

安全にお使いいただくために	2
電池の取り扱いについて	2
はじめに	4
本機の概要	4
本製品の構成	4
本書の表記	4
商標および著作権に関して	5
設置上の注意	5
製品のお手入れ	5
結露について	5
ユーザー登録について	5
アフターサービス	5
各部の名称と働き	6
フロントパネル	6
リア	7
サイドパネル	7
トップパネル	8
準備	8
電源について	8
単4形電池で使用する	8
電源供給の状態表示	8
マイクを接続する	8
電源をオンにする／オフにする	8
電源をオンにする	9
電源をオフにする	9
電源のオートオフ	9
microSDカードを取り付ける	9
microSDカードの取り扱いについて	10

microSDカードの取り扱い上の注意	10
microSDカードの録音時間について	10
パソコンと接続する	10
録音／停止をするには	11
再生／早戻し／早送りをするには	12
microSDカードの記録残容量を確認するには	12
メニューを設定する	12
メニュー項目の構成	13
メッセージ	17
テキストファイルによる設定	18
設定ファイル	18
設定ファイルの書式説明	18
仕様	20
定格	20
入出力定格	20
オーディオ特性	20
一般	20
寸法図	21

## はじめに

このたびは、TASCAM 製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

## 本機の概要

- ラベリアマイク（ピンマイク）での収録が可能なマイクローニアPCMレコーダー
- 記録メディアにmicroSD/microSDHCカードを採用
- 44.1k/48kHz、16/24ビット Mono/PolyのリニアPCM（WAV形式 / BWFフォーマット）録音が可能
- 録音を継続したまま、一定の録音時間長（約15分）でファイルを更新できるタイムトラッキングリフレッシュ機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、その部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利なローカットフィルター機能
- 異なるレベルで2系統の録音を同時に行うことができるデュアル録音機能（ファイルタイプをMONOに設定したときのみ）

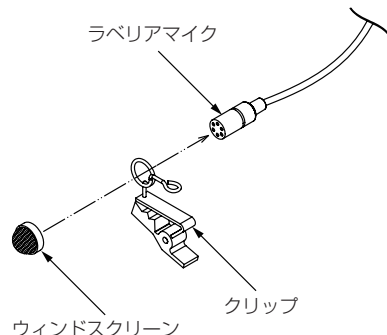
- 録音操作部にはガード付きスライドスイッチを搭載
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- システムファイル（テキストファイル）から内蔵時計の時刻 / 機能項目を設定可能
- 録音したファイルをその場で確認できる再生機能
- 日時情報保存用にリチウム二次電池搭載
- φ3.5mm（1/8"）ヘッドホン端子を装備
- 広視野角 / 高視認性の96x16ドット有機ELディスプレイを搭載
- Micro-B タイプUSB 2.0端子
- ベルト用クリップを装備

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカム カスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- 本体 .....x1
- ラベリアマイク（ピンマイク） .....x1  
マイククリップ、ウィンドスクリーン付き
- ベルト用クリップ .....x1
- ソフトケース .....x1
- USBケーブル .....x1
- microSDメモリーカード  
（本体差し込み済み） .....x1
- 単4形アルカリ乾電池 .....x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き） .....x1

## ラベリアマイク（ピンマイク）



## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン / 端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を ON のように表記します。
- ディスプレーに表示される反転表示部のことを「カーソル」と表記します。
- 「microSD/microSDHCメモリーカード」のことを「microSDカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

## メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

## 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水があたる場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

## 結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

## ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/jp/login>

## アフターサービス

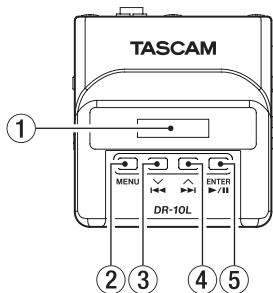
- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電池を抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦

ください。

- 型名、型番 (DR-10L)
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げ販売店名
- 故障の症状 (できるだけ詳しく「修理メモ」に記入してください)
- 本機で使用するメディアの記録内容が消失した場合、その修復に関する補償を含めて、弊社は責任を負いかねます。
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 各部の名称と働き

### フロントパネル



#### ① ディスプレー

各種情報を表示します。

#### ② MENUボタン

- ホーム画面の表示中にMENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面の表示中にもう一度、MENUボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
- 設定項目を表示中にMENUボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

#### ③ 左向きボタン

- 再生中またはファイルの途中で停止しているときに左向きボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- ファイルの先頭では、1つ前のファイルにスキップします。また、再生中に長押しすると、早戻しサーチを行います。

- メニュー画面の表示中に左向きボタンを押して、メニュー項目を選択します。
- 設定項目を表示中に左向きボタンを押すと、カーソルを左側に移動します。
- ファイル名の入力する際に、文字選択で使用します。

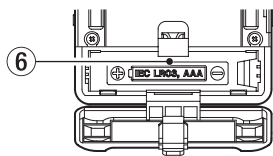
#### ④ 右向きボタン

- 再生中またはファイルの途中で停止しているときに右向きボタンを押すと、次のファイルにスキップします。また、再生中に長押しすると、早送りサーチを行います。
- メニュー画面の表示中に右向きボタンを押して、メニュー項目を選択します。
- 設定項目を表示中に右向きボタンを押すと、カーソルを右側に移動します。
- ファイル名の入力する際に、文字選択で使用します。

#### ⑤ 右向きボタン

- ホーム画面の表示中に右向きボタンを押すと、ファイルの再生を開始します。
- メニュー画面 / 設定項目を表示中に右向きボタンを押すと、選択している項目を確定します。また、確認のメッセージに対して確定するときに使います。

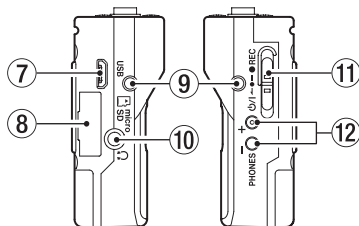
## リア



### ⑥ 電池ケース蓋／電池ケース

本機の電源になる電池（単4形電池、1本）を収納するケースです。

## サイドパネル



### ⑦ USB端子

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのMicro-B タイプのUSBポートです。接続時にUSBバスパワーで駆動するかパソコンとUSB接続するかを選択するPOWER/STORAGE 画面が表示されます。

#### 注意

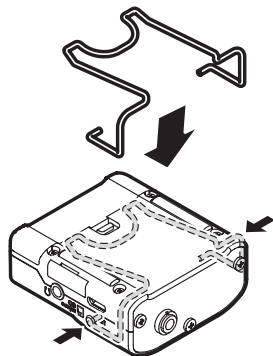
パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

### ⑧ microSDカードスロット

microSDカードの挿入／取り出しをします。左サイドパネルのmicroSDカードスロットのカバーを開けます。（→ 9ページ「microSDカードを取り付ける」）

### ⑨ ベルトクリップ取り付け穴

付属のベルトクリップを左右の穴に取り付けます。



### ⑩ ヘッドホン端子

ステレオヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。

### ⑪ 電源/録音スイッチ

「ON」側にスライドさせた状態で1秒程度保持することで、電源のオン／オフの切り換えを行います。

- スwitchを「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、録音を開始

します。

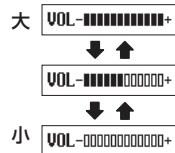
- スwitchを録音中に「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、録音を停止します。

#### メモ

本機は、誤操作を防止するため、操作してから作動するまで一秒程度の遅れが生じます。

### ⑫ PHONES[+] / [-]ボタン

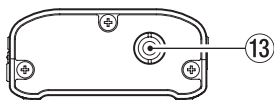
PHONE端子から出力される音量を、+ボタンまたは-ボタンを使って調節します。このとき、ボリューム位置がディスプレイに表示されます。



#### 注意

ヘッドホンを接続する前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンを接続するときや使用中には、端子に無理な力を加えないでください。特にミニジャックを使う場合は思わぬ力が加わり、機器を破損してしまう恐れがありますのでご注意ください。

## トップパネル



### ⑬ 1/8" (3.5mm) mini TRS (スクリューロック付) IN端子

マイクの3.5mm端子を本機に接続するIN端子です。

(Tip : MIC (BIAS)、Ring : OPEN、Sleeve : GND)

## 準備

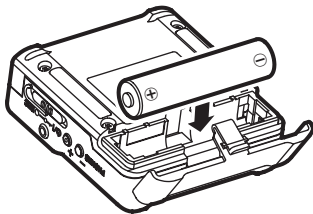
### 電源について

本機は、単4形電池1本または付属のUSBケーブルを使って (USBバスパワー供給)、本機に電源を供給します。

本機は、単4形アルカリ乾電池および単4形ニッケル水素電池、単4形リチウム乾電池も使用することができます。

## 単4形電池で使用する

本機のリアパネルの電池ケース蓋を開けて、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単4形電池を1本セットして、電池ケース蓋を閉めます。





単4形電池で使用するとき、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。(→ 12ページ「メニューを設定する」)



### 注意

- 単4形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単4形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

## 電源供給の状態表示

電池駆動時は、ディスプレイの右上に電池アイコンを表示します。

電池残量に応じて、目盛りが表示されます (  →  )。

目盛り表示がなくなると  が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。USBバスパワー駆動時は、 を表示します。

## マイクを接続する

- 付属のラベリアマイク (ピンマイク) の端子を本機のIN端子に接続します。
- メニュー画面の 15:MIC BIAS 項目を ON に設定してください。(→ 12ページ「メニューを設定する」)

### メモ

- マイクの端子を接続後に端子のスクリューロックでコネクターをロックします。
- 他社製のマイクを使用された場合、適切に録音できない場合があります。
- 使用中には、端子に無理な力を加えないでください。

## 電源をオンにする／オフにする

### 注意

電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。



## 電源をオンにする

電源がオフ時に、**φ/1** ← ● — ● RECスイッチを「**φ/1**」側にスライドさせ、1秒程度保持すると **TASCAM DR-10L** (起動画面) が表示され、本機が起動します。

本機が起動後、下記のホーム画面が表示されま



### メモ

最後の操作から数分経過するとディスプレイは、下記のようなスクリーンセーバー画面になります。



## 電源をオフにする

電源がオン時に、**φ/1** ← ● — ● RECスイッチを「**φ/1**」側にスライドさせ、1秒程度保持すると本機の電源がオフし、ディスプレイが消灯します。

### 注意

電源をオフにするときは、必ず **φ/1** ← ● — ● RECスイッチで行ってください。  
電源がオンのときに電池を外したり、USBバスパワーで使用しているときにUSBケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

## 電源のオートオフ

電池駆動のとき、メニュー画面の **11:POWER SAVE** 項目の設定が **ON** の場合、停止状態の最後の操作から約10分経過すると自動的に電源がオフになります。

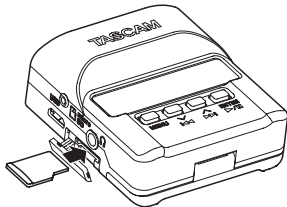
### メモ

初回電源投入時 (および電池がない状態で、しばらく置いたため内蔵時計がリセットされたとき) には、起動画面が表示された後に、日時を設定するメニュー画面の **17:DATE/TIME** 項目が表示されます。  
設定方法の詳細は、13ページ「メニュー項目の構成」の **17:DATE/TIME** 項目をご参照ください。

## microSDカードを取り付ける

左サイドパネルのmicroSDカードスロットのカバーを開けます。

- 挿入する  
microSDカードを下図の矢印方向にカチッと音がするまで差し込みます。
- 取り出す  
microSDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。



### 注意

本機でmicroSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。(→ 12ページ「メニューを設定する」)

- microSDカードをフォーマット後、本機の電源をオンにするとディスプレイに下記画面が表示されます。



- microSDカードをセットしないまま、本機の電源をオンにするとディスプレイに下記画面が表示されます。



microSDカードの取り扱いについては、下記をご参照ください。(→ 10ページ「microSDカードの取り扱いについて」)

## microSDカードの取り扱いについて

### microSDカードの取り扱い上の注意

本機では、microSD/microSDHCカードを使って録音や再生を行います。

使用できるカードは、64MB～2GBのmicroSDカード、および4GB～32GBのmicroSDHCカードです。

TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。microSD/microSDHCカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないと。
- 極端に湿度の高い場所に放置する、または濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- データ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。

### microSDカードの録音時間について

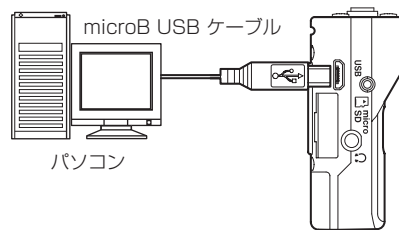
microSD/microSDHCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

microSD / microSDHC カード容量	録音時の設定WAV24ビット 48kHz	
	DUAL REC MODE OFF時	DUAL REC MODE ON時 / FILE TYPE POLY時
1GB	2時間04分	1時間02分
2GB	4時間08分	2時間04分
4GB	8時間16分	4時間08分
8GB	16時間32分	8時間16分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のmicroSD/microSDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD/microSDHCカードに可能な録音合計時間です。

## パソコンと接続する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。



電源がオフ、または電源のオンのときUSB接続にすると、USBバスパワーで供給するか、またはパソコンとUSB接続するかを選択するPOWER/STORAGE画面がディスプレイに表示されます。

画面の選択肢 (POWER / STORAGE) を◀◀[▽]ボタンと▶▶[△]ボタンで選択 (反転表示) し、▶/|| [ENTER]ボタンで確定します。



● **POWER** を選択した場合、電源をUSB端子から供給され、ホーム画面が表示されます。

● **STORAGE** を選択した場合、パソコンと問題なく本機が接続すると **USB connected** を表示します。

パソコン上にはUSBデバイスとして、**DR-10L** と表示します。

その **DR-10L** ドライブをダブルクリックして開くと録音ファイルの一覧が表示しますので、目的のファイルを取り出します。

## 録音／停止するには

本機は、電源がオフの状態からでもワンタッチで録音が可能です。

### ワンタッチ録音

電源がオフの状態から **ON/OFF** ← ● ● ● **REC** スイッチを「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、**TASCAM DR-10L** (起動画面) が表示し起動後に録音を開始します。

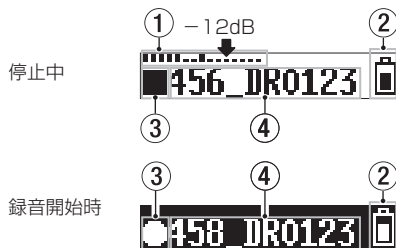
### 通常録音

電源がオンの状態から **ON/OFF** ← ● ● ● **REC** スイッチを「●REC」側にスライドさせて1秒程度経過すると録音を開始します。

### 録音停止

「●REC」側へスライドさせて1秒程度経過すると録音を停止します。

停止中／録音開始時／録音中は、下記の表示になります。



録音中



① レベルメーター	④ ファイル名
② 電池残量表示	⑤ 録音経過時間
③ レコーダーの状態表示	

### メモ

- 本機は、誤操作を防止するため、操作してから作動するまで一秒程度の遅れが生じます。
- 録音中にファイルサイズが2GBに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。(トラックインクリメント)
- レベルメーターで図中の矢印 (-12dB) を目安にして、マイク入力の感度をメニュー画面の **01:MIC GAIN** 項目で設定します。(→ 13ページ「メニュー項目の構成」)

## 再生／早戻し／早送りをするには

本機が起動後、下記のホーム画面が表示されま  
す。



### 再生／停止

ホーム画面で停止中に▶/||[ENTER]ボタ  
ンを押すと、再生を始めます。もう一度ボ  
タンを押すと停止します。

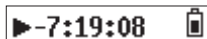
### 早戻し／早送り

再生中に◀◀[v]ボタン／▶▶[^]ボタ  
ンを押し続けると、早戻し／早送りサー  
チを開始します。◀◀[v]ボタン／▶▶[^]  
ボタンを押し続けた状態を保持すると、サー  
チスピードが速くなります。

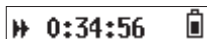
◀◀[v]ボタン／▶▶[^]ボタンを放すと  
再生に戻ります。

### メモ

- 再生中にMENUボタンを押し続けると、再  
生中ファイルの残量時間が表示されます。



- サーチ中は◀◀／▶▶が表示され、サー  
チスピードが速くなると◀◀◀／▶▶▶  
表示になります。



## microSDカードの記録残容量 を確認するには

停止中または録音中にMENUボタンを押し続  
けると、microSDカードの記録残容量が表示  
されます。

## メニューを設定する

本機の種類設定を以下の手順で変更します。

- ホーム画面の表示中にMENUボタンを押  
して、メニュー画面を表示します。
- ◀◀[v]ボタンと▶▶[^]ボタンを押  
して設定するメニュー項目を選択し、  
▶/||[ENTER]ボタンを押して設定項目  
を表示します。
- ◀◀[v]ボタンと▶▶[^]ボタンを押して、  
設定を変更します。
- ▶/||[ENTER]ボタンを押して設定を確  
定し、メニュー画面に戻ります。
- 必要に応じて、手順2.~4.を繰り返して各  
項目を設定します。
- 設定が終了したら、MENUボタンを押し  
てホーム画面に戻ります。

再生開始時／再生中は、下記の表示になります。



①レコーダーの状態表示	③電池残量表示
②再生ファイル名	④再生経過時間

## メニュー項目の構成

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー項目は以下の通りです。

メニュー項目	機能内容	設定項目 (初期値:下線付き)	機能説明
01:MIC GAIN	マイクゲイン 切り換え	L / <u>ML</u> / <u>H</u> / H / H+	マイク入力の感度を切り換えます。 <b>メモ</b> メニュー画面の 04:AUTO LEVEL 項目の設定が ON の時に 01:MIC GAIN 項目の設定を変更すると 04:AUTO LEVEL 項目の設定は OFF になります。 その時、ポップアップメッセージ「AUTO LVL Cancel」が表示されます。
02:LOW CUT	ローカット フィルター	OFF / <u>ON</u>	マイク入力のローカットフィルターのオン/オフを設定します。 カットオフ周波数は、120Hzです。
03:LIMITER	リミッター	<u>OFF</u> / ON	突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。機能のオン/オフを設定します。 入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。 その際は、メニュー画面の 01:MIC GAIN 項目でマイク入力の感度を下げるか、音源からマイクを離してください。
04:AUTO LEVEL	オートレベル	OFF / ON	入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節します。
05:FS SAMPLE	サンプリング周波 数の設定	44.1kHz / <u>48kHz</u>	サンプリング周波数を設定します。
06:BIT LENGTH	量子化ビット数の 設定	16bit / <u>24bit</u>	量子化ビット数を設定します。
07:FILE TYPE	録音ファイルタイ プの設定	<u>MONO</u> / POLY	録音ファイルのファイルタイプを設定します。 MONO : モノラルファイルとして扱います。 POLY : ステレオファイルとして扱います (ただし、Lch/Rchは同じデータ)。 <b>メモ</b> メニュー画面の 08:DUAL REC 項目の設定が ON のときに 07:FILE TYPE 項目の設定を POLY に設定すると、08:DUAL REC 項目の設定は OFF になります。 その時、ポップアップメッセージ「DUAL REC Cancel」が表示されます。

メニュー項目	機能内容	設定項目 (初期値:下線付き)	機能説明
08:DUAL REC	デュアル録音	<u>OFF</u> / ON	<p>本機では、通常の録音とは別に、異なる入力レベルでもう1つの録音を同時に行うことができます。たとえば、片方はできるだけ入力レベルを上げた状態で通常の録音をし、安全のために入力レベルを少し低め(-6dB)に設定したもう1つの録音を同時にするということができます。録音ファイルは、2個(入力レベルを上げたファイル、入力レベルを下げたファイル)で保存されます。</p> <p><b>デュアル録音時のファイル名</b> デュアル録音を行うと、2つのファイルが同時に作成されます。 デュアル録音されたもう1つのファイルのファイル名は、通常録音されたファイルのファイル名に「_D」が追加された名前になります。</p> <p>通常録音のファイル名                      デュアル録音のファイル名 <u>002</u> _ TASCAM. WAV      <u>002</u> _ TASCAM _ D. WAV</p> <p>①      ②                      ①      ②      ③</p> <p>①: 002 (録音ファイルの基本番号) ②: TASCAM (メニュー画面の 13:FILE NAME 項目の WORD の設定による) ③: D (入力レベルを低い設定(-6dB)でデュアル録音されたファイル)</p> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー画面の 07:FILE TYPE 項目の設定が POLY のときに 08:DUAL REC 項目の設定を ON に設定すると、07:FILE TYPE 項目の設定は MONO になります。 その時、ポップアップメッセージ「FILE TYPE Cancel」が表示されます。</li> <li>本機能は、04:AUTO LEVEL 項目の設定が ON のときも有効です。</li> <li>リミッター機能は、通常録音ファイルのみに反映されます。</li> </ul>
09:TRACK INC	タイムトラック インクリメント	<u>OFF</u> / ON	録音経過時間が約15分経過したときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます。
10:WARN BEEPS	警告音の設定	<u>OFF</u> / ON	<p>下記の条件の場合に設定をONにすることで、ヘッドホン端子から数秒おきに警告音(BEEP音)を出力させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池残量が少ない場合 (電池アイコンの目盛り表示がなくなった場合)</li> <li>● microSDカード残量が少ない場合 (録音時間が残り約10分以下の場合)</li> <li>● 録音が始まらない状態の場合 (録音ファイル数が制限値1000を超えている場合、microSDカードが異常な場合など)</li> </ul>
11:POWER SAVE	電源のオートオフ 設定	<u>OFF</u> / <u>ON</u>	電池駆動のときに、停止状態の最後の操作から約10分経過すると自動的に電源がオフになる機能のオン/オフを設定します。

メニュー項目	機能内容	設定項目 (初期値:下線付き)	機能説明
12:NAME TYPE	ファイル名の形式設定	WORD / DATE	本機で録音するファイルの名前の形式を設定することができます。 WORD : メニュー画面の 13:FILE NAME 項目で設定した6文字をファイル名に付けます。 (例) 000_DR0000.wav DATE : 日付をファイル名に付けます。 (例) 000_110101.wav
13:FILE NAME	ファイル名の設定	[DR0000]	▶/■[ENTER]ボタンを押す度に、左から右に1文字ずつカーソルが移動します。一番右の文字位置で▶/■[ENTER]ボタンを押すと、ファイル名を確定してメニュー画面に戻ります。 文字の変更は、カーソル位置で◀◀[▽]ボタンと▶▶[△]ボタンを使って文字を設定します。文字は、英数の他に、右記の記号!#\$%&'()+,-.:=@[^_`{ }~が使用可能です。 <b>ヒント</b> 本機を複数台使用する場合に、機器毎にどの機器で録音したファイルなのか識別用ファイル名を設定しておくことでファイル編集の際に便利です。 (例) 1台目: DROO01 / 2台目: DROO02 / 3台目: DROO03 / — / 10台目: DROO10 [000_DR0001.wav] / [000_DR0002.wav] / [000_DR0003.wav] ---- / [000_DR0010.wav]
14:FORMAT SD	microSDカードのフォーマット	Sure? YES / NO	本機に格納したmicroSDカードを初期化します。 YES : 初期化を開始します。初期化完了後、メニュー画面に戻ります。 NO : メニュー画面に戻ります。
15:MIC BIAS	マイクバイアス切り換え	OFF / ON	ON では、約2Vのマイクバイアスが供給されています。マイクが電源を持っている場合は、OFFにしてください。
16:BATT TYPE	電池設定	ALK / NiMH / LITH	使用する電池の種類を設定します。 この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。 ALK : 単4形アルカリ乾電池 NiMH : 単4形ニッケル水素電池 LITH : 単4形リチウム乾電池

メニュー項目	機能内容	設定項目 (初期値:下線付き)	機能説明
17:DATE/TIME	内蔵時計設定 年/月/日/時/分	YY-MM-DD HH:MM	<p>YY-MM-DD HH:MM ① ② ③ ④ ⑤</p> <p>①:YY(年)、②:MM(月)、③:DD(日)、④:HH(時)、⑤:MM(分)</p> <p>▶/■[ENTER]ボタンを押す度に、左から右に①→②→③→④→⑤とカーソルが移動します。</p> <p>一番右の⑤で▶/■[ENTER]ボタンを押すと、日時を確定してメニュー画面に戻ります。</p> <p>数字の変更は、カーソル位置で◀◀[▽]ボタンと▶▶[△]ボタンを使って数字を設定します。</p>
18:SVS INIT	設定の初期化	Sure? YES / NO	<p>MODEL SELECT 項目の設定を除く、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。</p> <p>YES : 初期設定を実行します。初期設定完了後、メニュー画面に戻ります。</p> <p>NO : メニュー画面に戻ります。</p>
19:VER INFO	ファームウェア バージョン表示	Vv.XX XXXX	<p>本機のファームウェアバージョンを表示します。</p> <p>バージョンを表示中に▶/■[ENTER]ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。</p>



## メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

メッセージ	内容と対処方法
Battery Empty	電池の残量がありません。電池を交換してください。
Card Error	microSDカードを正常に認識できません。microSDカードを交換してください。
Card Full	microSDカードの残容量がありません。不要ファイルを削除するかパソコン等へ移動してください。
File Full	録音ファイルの総数が制限値、1000を超えました。不要ファイルを削除するか、パソコンへ移動してください。
Format Error	microSDカードが正常にフォーマットされていないか、壊れています。 <b>DR-10L</b> 本体でmicroSDカードをフォーマットしてください。
Invalid Card	異常なカードの可能性があります。microSDカードを交換してください。
No Music File	microSD カードに再生可能ファイルがありません。
Non-Supported	ファイル形式がサポート対象外かファイルが壊れています。
Write Timeout	microSDカードへの書き込みが間に合いませんでした。 書き込みが高速なカードに変更するか、ファイルをパソコンなどへバックアップの上、フォーマットしてください。
Player Error	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れお直してください。
Write Failed	電源を切ることができない場合は、電池を取り外す、またはUSBバスパワー駆動時はUSBケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。

## テキストファイルによる設定

本体の電源を入れると自動的にmicroSDカードに格納された設定ファイル(テキスト形式)を読み取り、本体のメニュー項目の設定に反映されます。

### メモ

設定反映後、設定ファイルは消去されます。

## 設定ファイル

- ファイル名 : DR-10\_SysPara.txt
- ファイルの格納先 : microSDカードのルートに設定ファイルを置きます。

## 設定ファイルの書式説明

設定要素の記述順番は、問いません。  
設定要素は、全ての要素を記述する必要はなく、必要に応じて設定したい要素のみ記述することもできます。

### メモ

- 記述内容に誤りがある場合は、本体設定に反映されません。
- **07:FILE TYPE** 項目の設定が `“POLY”`、**08:DUAL REC** 項目の設定が `“ON”` の場合は、設定ファイルの記述順番の後のメニュー項目の設定になります。

## タグの定義

### <dr10\_syspara> (必須)

設定文書であることを宣言するタグです。全ての設定要素は、<dr10\_syspara>と</dr10\_syspara>の間に記述します。

### <mic\_gain>

メニュー画面の **01:MIC GAIN** 項目の設定を指定します。記述は、**low**、**midlow**、**mid**、**hi** または **hi+** の何れかで表記します。

例) <mic\_gain>mid</mic\_gain>

### <low\_cut>

メニュー画面の **02:LOW CUT** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**の何れかで表記します。

例) <low\_cut>on</low\_cut>

### <limiter>

メニュー画面の **03:LIMITER** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**の何れかで表記します。

例) <limiter>off</limiter>

### <auto\_level>

メニュー画面の **04:AUTO LEVEL** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**の何れかで表記します。

例) <auto\_level>off</auto\_level>

### <fs\_sample>

メニュー画面の **05:FS SAMPLE** 項目の設定を指定します。記述は、**44.1/48**の何れかで表記します。

例) <fs\_sample>48</fs\_sample>

### <bit\_length>

メニュー画面の **06:BIT LENGTH** 項目の設定を指定します。記述は、**16bit/24bit**の何れかで表記します。

例) <bit\_length>24bit</bit\_length>

### <file\_type>

メニュー画面の **07:FILE TYPE** 項目の設定を指定します。記述は、**MONO/POLY**の何れかで表記します。

例) <file\_type>MONO</file\_type>

### <dual\_rec>

メニュー画面の **08:DUAL REC** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**の何れかで表記します。

例) <dual\_rec>off</dual\_rec>

### <time\_track\_inc>

メニュー画面の **09:TRACK INC** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**の何れかで表記します。

例) <time\_track\_inc>off</time\_track\_inc>

### <beep>

メニュー画面の **10:WARN BEEPS** 項目の設定を指定します。記述は、**off/on**のいずれかで表記します。

例) <beep>off</beep>

#### <auto\_pwr\_save>

メニュー画面の 11:POWER SAVE 項目の設定を指定します。記述は、off/onの何れかで表記します。

例) <auto\_pwr\_save>on</auto\_pwr\_save>

#### <file\_name\_type>

メニュー画面の 12:NAME TYPE 項目の設定を指定します。記述は、word, date の何れかで表記します。

例) <file\_name\_type>date</file\_name\_type>

#### <file\_name>

メニュー画面の 13:FILE NAME 項目の設定を指定します。記述は、ファイル名を6文字で表記します。

例) <file\_name>DR0000</file\_name>

#### <mic\_bias>

メニュー画面の 15:MIC BIAS 項目の設定を指定します。記述は、off/onの何れかで表記します。

例) <mic\_bias>on</mic\_bias>

#### <battery\_type>

メニュー画面の 16:BATT VPE 項目の設定を指定します。記述は、alkali/ni-mh/lithiumの何れかで表記します。

例) <battery\_type>alkali</battery\_type>

#### <date>

メニュー画面の 17:DATE/TIME 項目の日付（内蔵時計）設定を指定します。記述は、半角数字、ハイフンによる“YYYY-MM-DD”形式10桁表記となります。

例) <date>2014-08-27</date>

#### <time>

メニュー画面の 17:DATE/TIME 項目の時間（内蔵時計）設定を指定します。記述は、半角数字、コロンによる“HH:MM:SS”形式24時間桁表記となります。

例) <time>23:59:59</time>

## サンプル記述

### ●全てのメニュー項目を指定する場合

```
<dr10_syspara>
  <mic_gain>low</mic_gain>
  <mic_bias>off</mic_bias>
  <low_cut>on</low_cut>
  <limiter>off</limiter>
  <auto_level>off</auto_level>
  <fs_sample>48</fs_sample>
  <bit_length>24bit</bit_length>
  <file_type>MONO</file_type>
  <dual_rec>off</dual_rec>
  <time_track_inc>off</time_track_inc>
  <beep>off</beep>
  <auto_pwr_save>on</auto_pwr_save>
  <file_name_type>date</file_name_type>
  <file_name>DR0000</file_name>
  <battery_type>alkali</battery_type>
  <date>2014-08-27</date>
  <time>23:59:59</time>
</dr10_syspara>
```

### ●内蔵時計の時間設定のみを指定する場合

```
<dr10_syspara>
  <time>23:59:59</time>
</dr10_syspara>
```

## 仕様

### 定格

#### 記録メディア

microSDカード (64MB ~ 2GB)  
microSDHCカード (4GB ~ 32GB)

#### 録音再生フォーマット

44.1k/48kHz、16/24ビット Mono/Poly (BWFフォーマット)

### 入出力定格

#### アナログ入力

##### マイク端子

コネクター: 1/8" (3.5mm) mini TRS JACK (スクリューロック付)  
マイク感度: -42dBV/Pa  
最大入力音圧: 115dB SPL  
最大入力レベル: -15 dBu (ゲインL時)  
最小入力レベル: -55dBu (ゲインH+時)  
マイク入力ゲイン: 14 dB ~ 38 dB  
入力インピーダンス: 33K $\Omega$  (Mic bias off)  
: 2K $\Omega$  (Mic bias on)

#### アナログ出力

##### ヘッドホン端子

コネクター: 1/8" (3.5mm) STEREO PHONE  
(音声出力はDUAL MONO 出力)

### オーディオ特性

#### IN → PHONES (インプットモニター出力、10k $\Omega$ 負荷時)

周波数特性: 20Hz-22kHz +1/-2dB

歪率 : 0.05% (1kHz Sinewave、最大入力レベル時)

S/N 比 : 88dB以上 (PHONES volume max、MIC GAIN L選択時)

### 一般

#### 電源

単4形電池×1本  
(アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池)  
パソコンからのUSBバスパワー

#### 消費電力

0.45W (最大時)

#### 消費電流 (USBバスパワー)

0.25A (最大時)

#### 電池持続時間 (連続使用時)

##### ●アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約10時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス: オフ リミッター: オフ デュアル録音: オフ ファイルタイプ: MONO
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約9.5時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス: オン リミッター: オフ デュアル録音: オフ ファイルタイプ: MONO

### ● ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約8時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス：オフ リミッター：オフ デュアル録音：オフ ファイルタイプ：MONO
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約7.5時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス：オン リミッター：オフ デュアル録音：オフ ファイルタイプ：MONO

### ● リチウム乾電池 (Energizer ULTIMATE LITHIUM) 使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約15.5時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス：オフ リミッター：オフ デュアル録音：オフ ファイルタイプ：MONO
録音時	WAV、48kHz、 24ビット	約14.5時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続* マイクバイアス：オン リミッター：オフ デュアル録音：オフ ファイルタイプ：MONO

### メモ

- 測定条件は、JEITA CP-2905Bに準じます。
- 記録メディア SanDisk microSDHC UHS-I 16GB (SDSDQUL-016G-J35A) を使用した際の一例です。

- 電池持続時間（連続動作時）は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。
- ヘッドホンを接続した状態で使用すると、電池の寿命が短くなります。

### 日時情報保存用

リチウム二次電池×1（内蔵）

### 寸法

52 x 55.6 x 24.4 mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起部含まず）

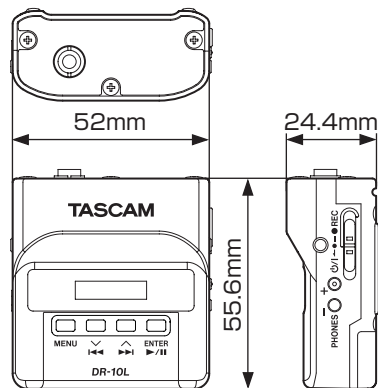
### 質量

63g / 51g（電池を含む / 電池を含まず）

### 動作温度

0 ~ 40℃

### 寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

## ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは  
タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



市内通話料でOK  
ナビダイヤル

**0570-000-809**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00~12:00 / 13:00~17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは  
ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



市内通話料でOK  
ナビダイヤル

**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



## 無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6) メンテナンス
  - (7) 本書の提示がない場合
  - (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

### 修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

# 保証書

品名 および 形名	DR-10L		
機番			
保証期間	本体	1年	
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所		

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店		
	電話	( )

見本

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

## ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501 / 04-2901-1033